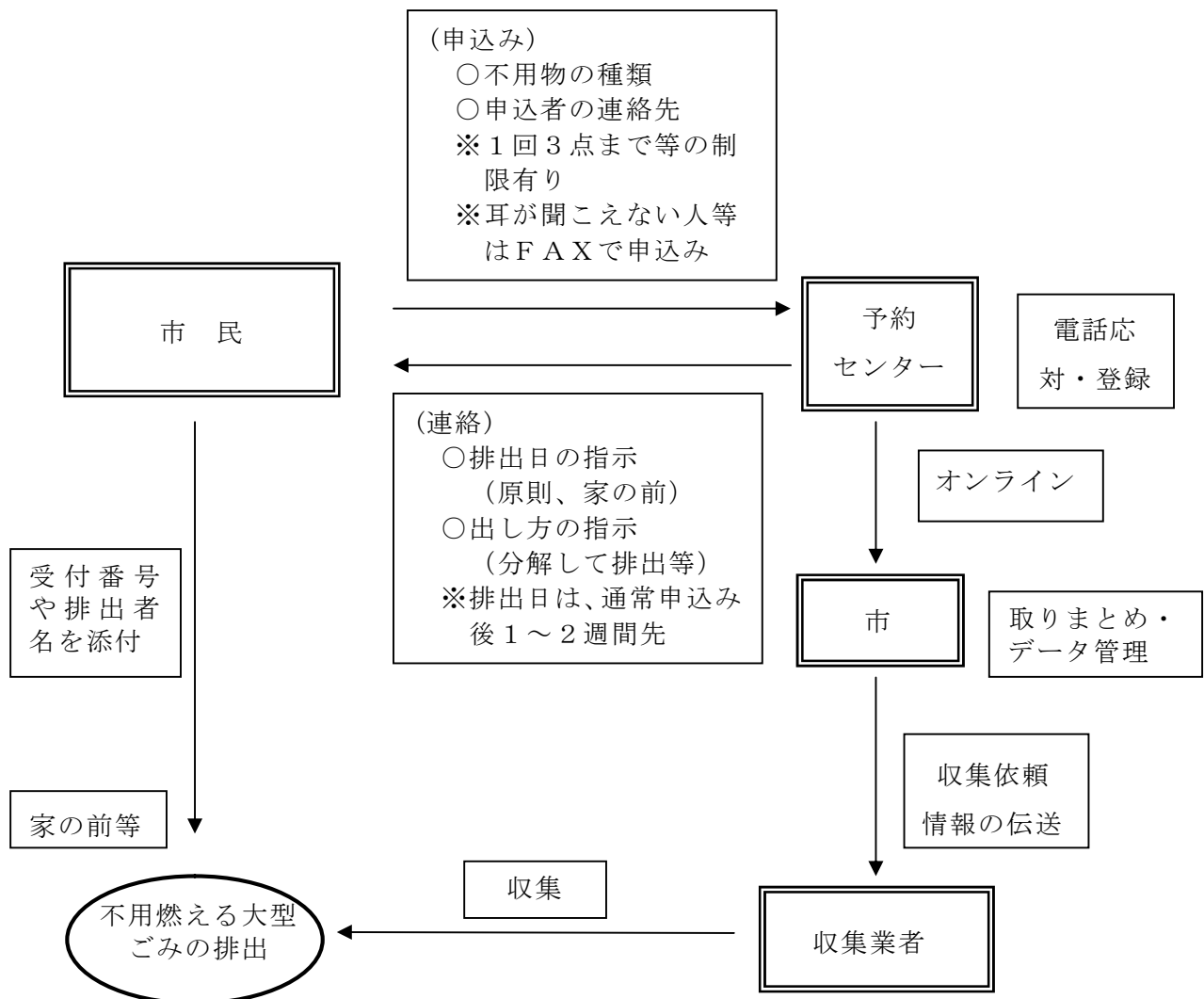


大型ごみ電話リクエスト制の導入について

(1) 具体的な電話リクエスト制のイメージ



(2) 電話リクエスト制のメリット・デメリット等

1) メリット

- ①ごみ出しの負担が軽減される。(ステーション→玄関前)
- ②随時排出が可能となる。(4ヶ月に1回→必要時)
- ③先進他都市の事例からごみの減量化が見込まれる。

2) デメリット・問題点

- ①市民は、その都度電話で申し込む必要がある(手間がかかる)。
- ②収集コースがあらかじめ決められているため、市民の排出日の希望が通らない。
- ③有料制にする場合は、市民に1品300～2,000円程度の費用負担が発生する。
- ④新たに電話受付業務(システム使用料を含む)の経費が発生する。(年間500万以上は必要)
- ⑤狭隘道路沿いの世帯では、戸別収集ができない。
- ⑥市に市内の狭隘道路の把握が必要となる。
- ⑦市に情報の取りまとめ等の事務処理、収集業者との綿密な連絡調整が必要となる。

(3) 電話リクエスト制導入に向けた検討課題・審議事項

① 1回あたりの排出点数、次回までの申込み間隔等の制限

② 現状の無料のままか、変更に伴い有料化にするのか

- ・有料化の場合は、品目ごとの詳細な料金設定、料金の支払い・徴収方法の決定、市民への十分な周知

③ 電話受付の受付曜日・時間の設定

④ 電話料金の費用負担

- ・受付電話番号の設定(市内局番0743とするのか、フリーダイヤル0120か、フリーダイヤルの場合の料金はすべて市負担、市内局番の場合は市内通話分は市民、市外転送分は市負担)

⑤ 収集コース・収集日程の設定

⑥ 大型ごみに排出者の情報を貼付するか否か

- ・貼付の場合はシールやメモに、受付番号・氏名等どこまでの情報を記載するのか

⑦ 収集時の立ち会いの有無

- ・排出品目の確認ができるが、時間調整が必要となる